

令和3年度対日理解促進交流プログラム
「カケハシ・プロジェクト」 (カナダ)

最終事業報告書

業務実施期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日

令和4年5月31日

一般財団法人 日本国際協力センター

I 実施業務概要

1. 業務実施期間： 2021年4月1日～2022年3月31日
2. 実施業務項目
 - (1) 外務省及び国内外の関係機関との事業実施にかかる連絡調整、情報共有
 - (2) オンラインプログラムの企画・運営 ※ 一部オンラインプログラムは APFC (Asia Pacific Foundation of Canada) 主催で実施された。
 - オンラインプログラムの企画
 - バーチャルツアー、オンライン講義、オンライン学校交流等オンラインプログラムに係る手配、関係者との連絡調整
 - 参加者の募集、とりまとめ
 - Zoom Link の発行 参加者への送付
 - 関係者とのリハーサル
 - 個別の案件実施に係るプレスリリースの発出
 - オンラインプログラム当日のプログラム運営（プログラム進行統括、Zoom 操作、時間管理、出欠確認、司会進行、ファシリテーション等）
 - 通訳の手配
 - 講師との連絡調整（依頼状発出、謝金支払い等）
 - アンケートの実施、とりまとめ
 - 報告書の作成
 - オンラインプログラムに関する広報・フォローアップ管理業務 等
 - (3) 上記諸手配に係る経費の支払い
 - (4) 業務完了報告書・会計報告書の作成、提出

II 業務実施状況

1. 概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」は、将来を担う人材を米国・カナダとの間で招へい・派遣し、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘し、また日本の外交姿勢や魅力について被招へい者・被派遣者自らに積極的に発信してもらうことで対外発信力を強化し、我が国の外交基盤を拡充することを目的としている。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、国境を越えた人の往来に制限がある中、当センタ

ーは、実際の招へい・派遣プログラムに代わるオンラインプログラムにおいて、プログラム目的にあった参加者の募集・選考、プログラムの企画・運営を担当し、オンラインでの講義、視察・意見交換、文化体験、学校交流等を通して、日本の魅力をカナダの参加者へ紹介し、日加両国の相互理解、関係構築を推進すべく業務を実施した。

なお、別途提出済の状況進捗表の人数と、この最終報告書に記載の総計人数とは一致しない。（状況進捗表では、カケハシ同窓生がプレプログラムにも参加した場合、ダブルカウントしている。）

(1) オンラインプログラム（プレ招へい）

カナダの高校生 27 名に対し、オンラインによるプレ招へいプログラムを行った。2021 年度（令和 3 年度）予算によるオンラインプレ招へいプログラムの実施時期は 2021 年 11 月。

タイトル	対象	カナダ人数	実施日	学校名／団体名
1. カナダ高校生招へい（バンクリーク高校）（横浜女学院高等学校）	高校生	27 名	2021/11/19	バンクリーク高校
	総計	27 名		

(2) 派遣プログラム（オンラインプレ派遣）

日本の高校生 34 名に対し、オンラインによるプレ派遣プログラムを行った。2021 年度（令和 3 年度）予算によるオンラインプレ派遣プログラムの実施時期は 2021 年 11 月。

タイトル	対象	日本人数	実施日	学校名／団体名
1. カナダ高校生派遣（バンクリーク高校）（横浜女学院高等学校）	高校生	34 名	2021/11/19	横浜女学院高等学校
	総計	34 名		

(3) フォローアッププログラム（オンラインFU）

カナダの高校生、大学生、大学院生、社会人 97 名に対し、オンラインによるフォローアップ（FU）プログラムを行った。2021 年度（令和 3 年度）予算によるフォローアップ（FU）の実施時期は 2021 年 11 月～2022 年 3 月。

タイトル	対象	カナダ・日本人数	実施日	学校名／団体名
1. オリンピアン同窓会	大学生 大学院生 社会人	33 名（カナダ 32 名、日本 1 名）	2021/11/26	

2. 日本在住同窓生向け同窓会	大学生 大学院生 社会人	1名（カナダ1名）	2022/01/22	
3. 被災地復興ワークショップ（南三陸）	高校生 大学生 大学院生 社会人	4名（カナダ4名）	2022/01/26	
4. 浮世絵工房バーチャルツアー）	大学生 大学院生 社会人	9名（カナダ9名）	2022/02/04	
5. 同窓生主催同窓会	高校生 大学生 大学院生 社会人	7名（カナダ2名、日本5名）	2022/02/16	
6. カケハシから JET へ（JETAADC 共催ネットワーキングイベント）	大学生 社会人	5名（カナダ5名）	2022/02/26	
7. 法光寺 お寺ツアー・座禅体験	大学生 社会人	4名（カナダ4名）	2022/03/09	
8. 大阪の魅力発見バーチャルツアー	高校生 大学生 社会人	4名（カナダ4名）	2022/03/15	
9. 大須商店街バーチャルツアー	社会人	4名（カナダ4名）	2022/03/17	
10. 日本在住同窓生とのネットワーキングイベント	大学生 大学院生 社会人	13名（カナダ11名、日本2名）	2022/03/26	
11. おわら風の盆体験	大学生 大学院生 社会人	11名（カナダ10名、日本1名）	2022/03/30	
12. 有松鳴海絞り体験	高校生 大学生 大学院生 社会人	2名（カナダ2名）	2022/03/31	
	総計	97名（カナダ88名、日本9名）		

2. プログラム内容

(1) 招へいプログラム（オンラインプレ招へい）

オンラインプレ招へいプログラムでは、2020 年 11 月にカナダ高校生招へい（バーンクリーク高校）（横浜女学院高等学校）のプログラムを実施した。同世代の若者が学校紹介やコロナ禍の学校生活への影響、オリンピック開催、環境問題等の議論を通じて友好を深めた。

(2) 派遣プログラム（オンラインプレ派遣）

オンラインプレ派遣プログラムでは、高校生派遣について、学校交流を行った。学校の紹介や、日本文化の紹介などのプレゼンテーション、クイズなどを行い、参加者が積極的に質問する様子が見られ、互いの文化や歴史、ものの見方を知り友好を深める良い機会となった。

(3) フォローアッププログラム（オンライン FU）

フォローアップ（FU）について、APFC 主催のオリンピック同窓会では、東京 2020 オリンピック競技大会に出場した 5 名のカケハシ・プロジェクト同窓生を招き、パネルディスカッションを行った。カケハシ同窓生がスポーツを通じて日加両国の架け橋として、世界で活躍している様子を知ることができ、参加者は感銘を受けていた。そのほかにも、今年度は全カケハシ同窓生を対象として、多くの興味深いプログラムを提供した。南三陸町被災地復興ツアー、浮世絵工房バーチャルツアー、座禅体験、大阪の魅力発見バーチャルツアー、大須商店街バーチャルツアー、有松鳴海絞体験など、いずれも好評を博した。

3. 参加者アンケート結果

(1) 招へいプログラム

オンラインプログラム実施後にプログラムに関するアンケートを実施した。結果、カナダの参加者（学生/社会人、引率者を含む）のうち 4 の回答があった。

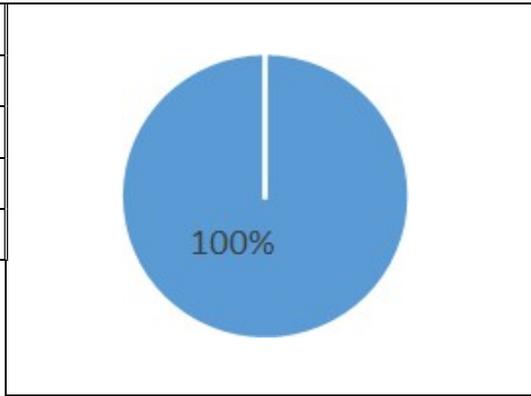
【学校交流後アンケート】

1. オンライン交流に関する意見

(1) コロナ禍下で渡航ができない中、オンラインで日本人や他の参加者と交流する機会は有効だと考えますか。

■ ア. はい ■ イ. いいえ ■ ウ. どちらでもない

	人数
ア. はい	4
イ. いいえ	0
ウ. どちらでもない	0
合計	4

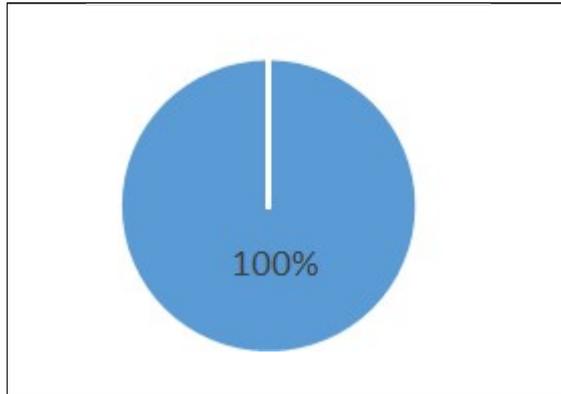


【プレ・プログラムについて】

(2) 今回のプレ・プログラムへの満足度を評価してください。

- ア. 満足
 ■ イ. ほぼ満足
 ■ ウ. 普通
■ エ. やや不満
 ■ オ. 不満

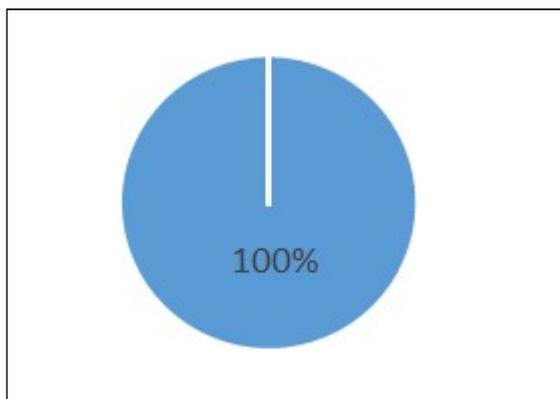
	人数
ア. 満足	4
イ. ほぼ満足	0
ウ. 普通	0
エ. やや不満	0
オ. 不満	0
合計	4



(3) プログラム内容は日本へ訪問する前の事前学習として役に立ちましたか？

- ア. 満足
 ■ イ. ほぼ満足
 ■ ウ. 普通
■ エ. やや不満
 ■ オ. 不満

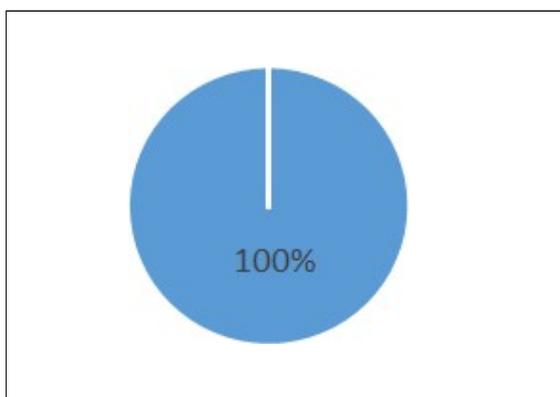
	人数
ア. 満足	4
イ. ほぼ満足	0
ウ. 普通	0
エ. やや不満	0
オ. 不満	0
合計	4



(4) プレ・プログラムに参加後、訪日への期待は高まりましたか。

- ア. 満足 ■ イ. ほぼ満足 ■ ウ. 普通
■ エ. やや不満 ■ オ. 不満

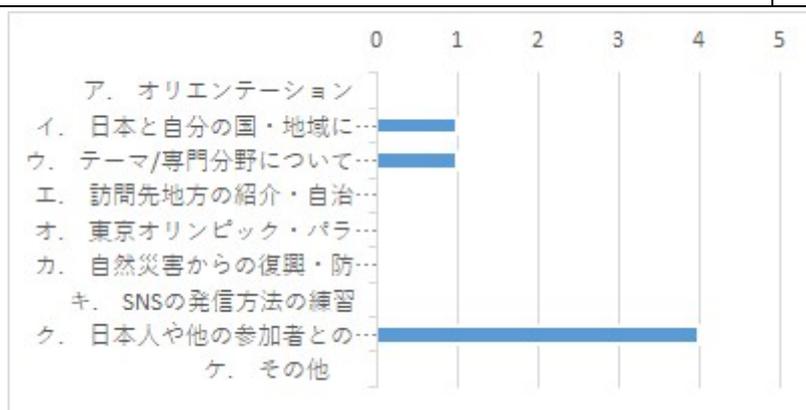
	人数
ア. 満足	4
イ. ほぼ満足	0
ウ. 普通	0
エ. やや不満	0
オ. 不満	0
合計	4



(5) 今回のプレ・プログラムで強く印象に残った内容は何ですか。(当てはまるものすべてに回答してください)

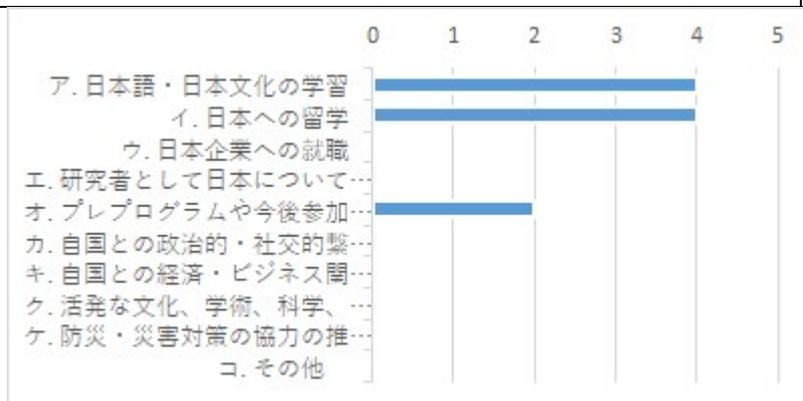
	人数
ア. オリエンテーション	0
イ. 日本と自分の国・地域についての講義・意見交換	1
ウ. テーマ/専門分野についての講義・意見交換・オンライン視察	1
エ. 訪問先地方の紹介・自治体表敬・オンライン訪問	0
オ. 東京オリンピック・パラリンピック関連情報	0
カ. 自然災害からの復興・防災対策	0
キ. SNSの発信方法の練習	0
ク. 日本人や他の参加者との意見交換・交流	4

ケ. その他	0
合計	6



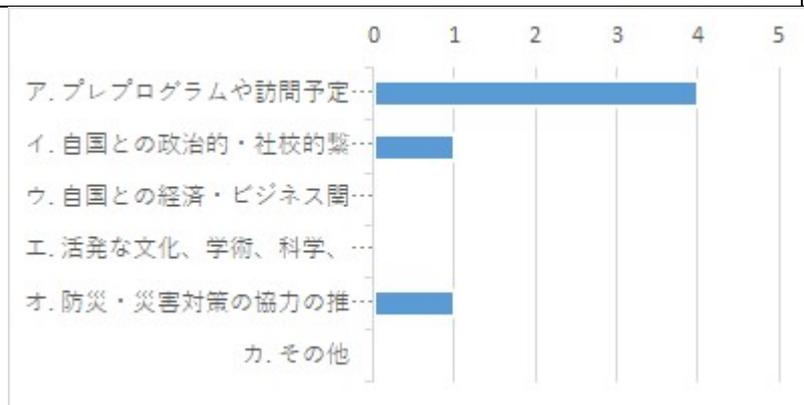
(6) 現時点で、日本との関わりについて、関心があるものは何ですか。(複数選択可)

	人数
ア. 日本語・日本文化の学習	4
イ. 日本への留学	4
ウ. 日本企業への就職	0
エ. 研究者として日本について専攻	0
オ. プレ・プログラムや今後参加予定の訪問先で出会った人との繋がりを維持・強化	2
カ. 自国との政治的・社会的繋がりの強化に関する活動への参加	0
キ. 自国との経済・ビジネス関係の強化に関する活動への参加	0
ク. 活発な文化、学術、科学、スポーツ等の交流の推進に関する活動への参加	0
ケ. 防災・災害対策の協力の推進に関する活動への参加	0
コ. その他	0
合計	10



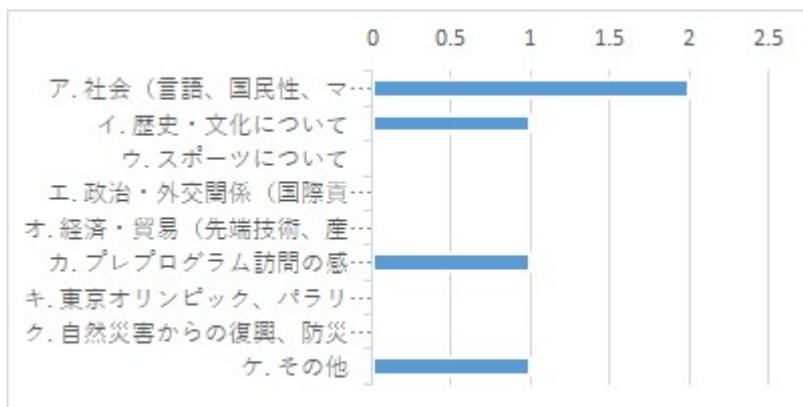
(7) 現時点で、将来、日本との関係を個人的にどのように発展させたいと考えていますか。(複数選択可)

	人数
ア. プレ・プログラムや訪問予定地で出会った人との繋がりを維持・強化	4
イ. 自国との政治的・社教的繋がりの強化に関する活動への参加	1
ウ. 自国との経済・ビジネス関係の強化に関する活動への参加	0
エ. 活発な文化、学術、科学、スポーツ等の交流の推進に関する活動への参加	0
オ. 防災・災害対策の協力の推進に関する活動への参加	1
カ. その他	0
合計	6



(8) 日本の何に関心を持ち、発信しましたか。(複数選択可)

	人数
ア. 社会（言語、国民性、マナー）について	2
イ. 歴史・文化について	1
ウ. スポーツについて	0
エ. 政治・外交関係（国際貢献・安全保障等）について	0
オ. 経済・貿易（先端技術、産業、商品・サービス等）について	0
カ. プレ・プログラム訪問の感想・訪日時の展望	1
キ. 東京オリンピック、パラリンピック関連情報	0
ク. 自然災害からの復興、防災対策	0
ケ. その他	1
合計	5



(2) 派遣プログラム (オンラインプレ派遣、)

オンラインプログラム実施後にプログラムに関するアンケートを実施した。結果日本の参加者 (大学生) のうち、3 の回答があった。

【学校交流後アンケート】

1.オンライン交流に関する意見

(1) コロナ禍下で渡航ができない中、オンラインで海外の人と交流する機会是有効だと考えますか。

■ ア. はい ■ イ. いいえ ■ ウ. どちらでもない

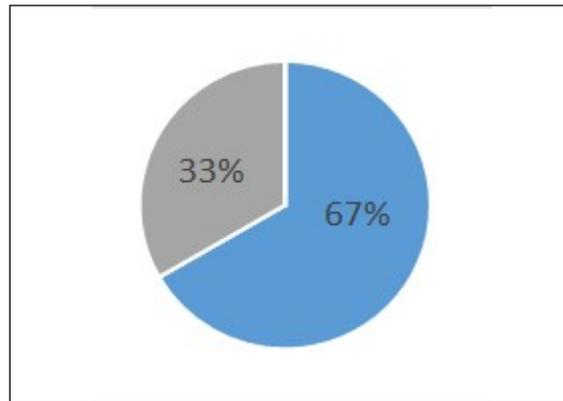


【プレ・プログラムについて】

(2) プログラム内容は満足のいく内容でしたか。

■ ア. 満足 ■ イ. ほぼ満足 ■ ウ. 普通
 ■ エ. やや不満 ■ オ. 不満

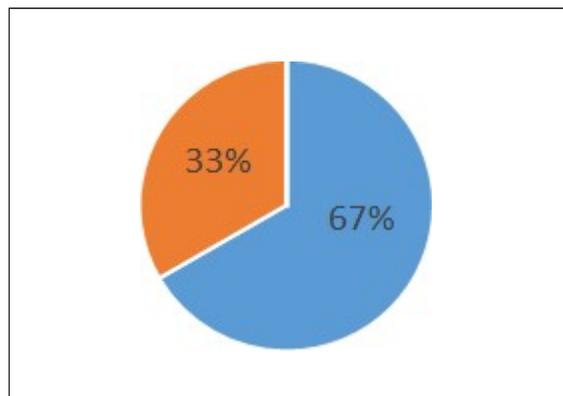
	人数
ア. 満足	2
イ. ほぼ満足	0
ウ. 普通	1
エ. やや不満	0
オ. 不満	0
合計	3



(3) プログラム内容は訪問予定地へ渡航する前の事前学習として役に立ちましたか。

- ア. 満足
 ■ イ. ほぼ満足
 ■ ウ. 普通
■ エ. やや不満
 ■ オ. 不満

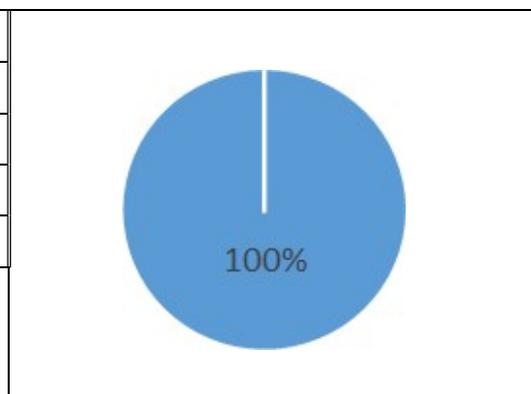
	人数
ア. 満足	2
イ. ほぼ満足	1
ウ. 普通	0
エ. やや不満	0
オ. 不満	0
合計	3



(4) 訪問予定地での日本の活動（国際貢献）やプレゼンスに対する理解が深まりましたか。

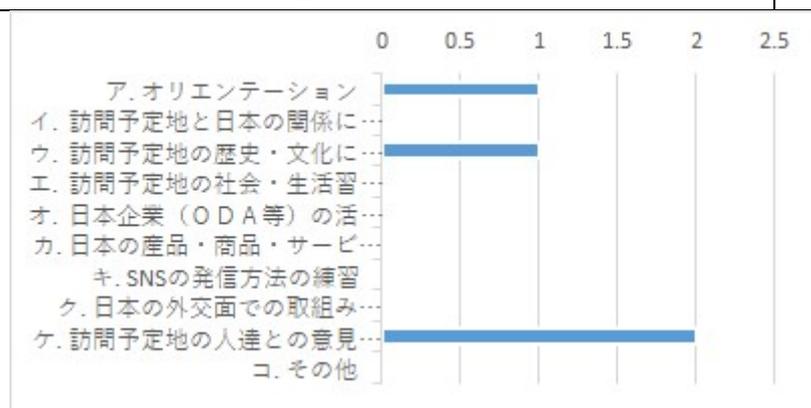
- ア. はい
 ■ イ. いいえ
 ■ ウ. どちらでもない

	人数
ア. はい	3
イ. いいえ	0
ウ. どちらでもない	0
合計	3



(5) 今回のプレ・プログラムで強く印象に残った内容は何ですか。(当てはまるもすべてに回答してください)

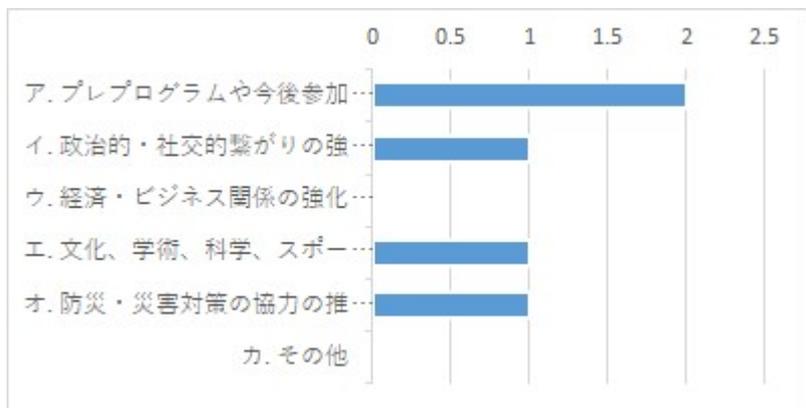
	人数
ア. オリエンテーション	1
イ. 訪問予定地と日本の関係についての講義・意見交換	0
ウ. 訪問予定地の歴史・文化についての講義・意見交換	1
エ. 訪問予定地の社会・生活習慣についての講義・意見交換	0
オ. 日本企業（ODA等）の活躍についての講義・意見交換	0
カ. 日本の産品・商品・サービスの優位性についての講義・意見交換	0
キ. SNSの発信方法の練習	0
ク. 日本の外交面での取組み（ODA・安全保障等）	0
ケ. 訪問予定地の人達との意見交換・交流	2
コ. その他	0
合計	4



(6) 現時点で、今後、訪問地との関わりについて、どのように発展させていきたいと考えていますか。(複数回答可)

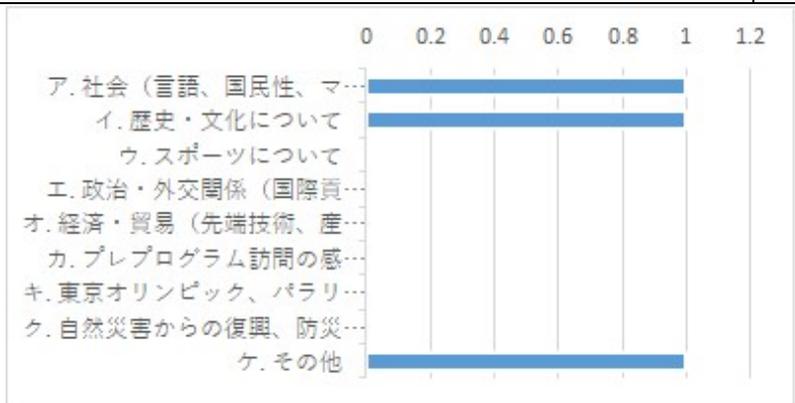
	人数
ア. プレ・プログラムや今後参加予定の訪問先で出会った人との繋がりを維持・強化	2
イ. 政治的・社会的繋がりの強化に関する活動への参加	1
ウ. 経済・ビジネス関係の強化に関する活動への参加	0
エ. 文化、学術、科学、スポーツ等の交流の推進に関する活動への参加	1
オ. 防災・災害対策の協力の推進に関する活動への参加	1

カ. その他	0
合計	5



(7) 英語または訪問地の言語で発信した内容は何ですか。(複数選択可)

	人数
ア. 社会（言語、国民性、マナー）について	1
イ. 歴史・文化について	1
ウ. スポーツについて	0
エ. 政治・外交関係（国際貢献・安全保障等）について	0
オ. 経済・貿易（先端技術、産業、商品・サービス等）について	0
カ. プレ・プログラム訪問の感想・訪日時 of 展望	0
キ. 東京オリンピック、パラリンピック関連情報	0
ク. 自然災害からの復興、防災対策	0
ケ. その他	1
合計	3



(3) フォローアッププログラム（オンライン FU）

オンラインプログラム実施後にプログラムに関するアンケートを実施した。結果、米国、カナダ、日本のフォローアップ参加者のうち、109 の回答があった。

【オンラインイベントについて】

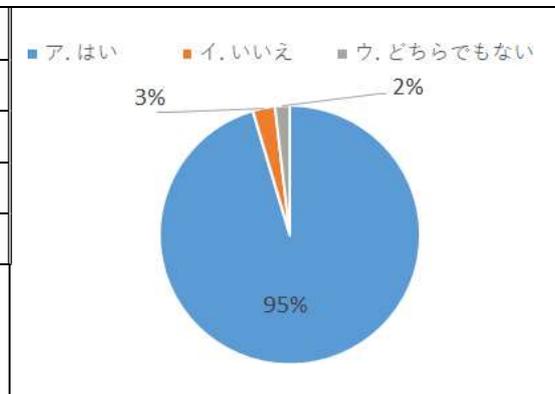
(1) オンライン同窓会をどのように評価しますか？

	人数
ア. 満足	109
イ. ほぼ満足	0
ウ. 普通	0
エ. やや不満	0
オ. 不満	0
合計	109



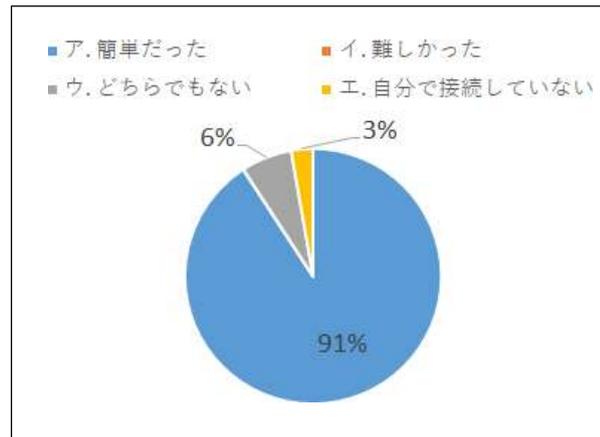
(2) コロナ禍で渡航ができない中、オンラインで日本人や他の参加者と交流する機会は有効だと考えますか。

	人数
ア. はい	104
イ. いいえ	3
ウ. どちらでもない	2
合計	109



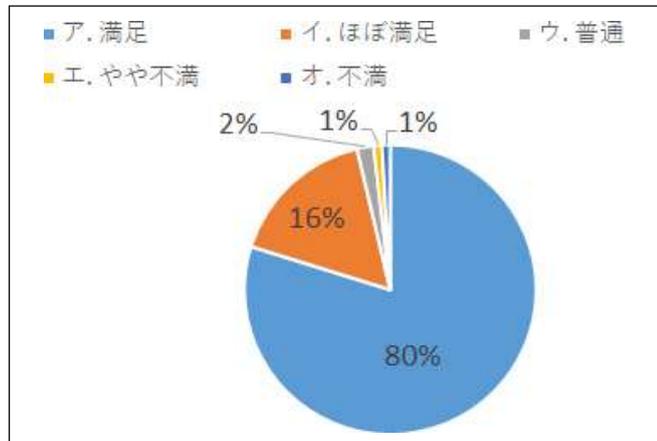
(3) オンライン交流プログラムを実施するにあたり、自分でオンラインの接続をすることは簡単でしたか。

	人数
ア. 簡単だった	99
イ. 難しかった	0
ウ. どちらでもない	7
エ. 自分で接続していない	3
合計	109



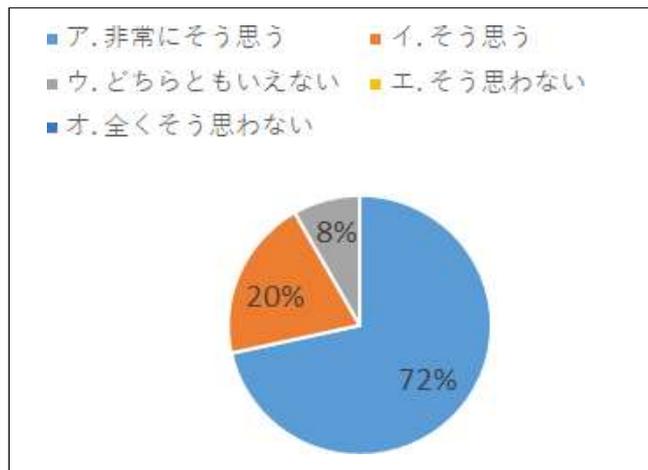
(4) 今回のプログラムの内容を評価してください。

	人数
ア. 満足	87
イ. ほぼ満足	18
ウ. 普通	2
エ. やや不満	1
オ. 不満	1
合計	109



(5) オンライン同窓会への参加を機に日本への関心が高まりましたか？

	人数
ア 非常にそう思う	78
イ そう思う	22
ウ どちらともいえない	9
エ そう思わない	0
オ 全くそう思わない	0
合計	109

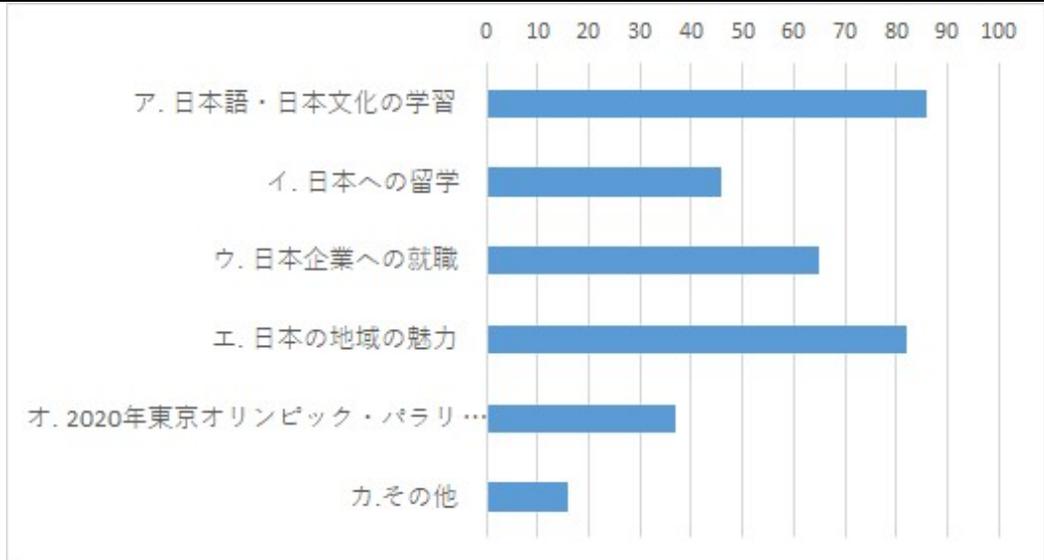


(6) また同窓会イベントに参加したいですか？



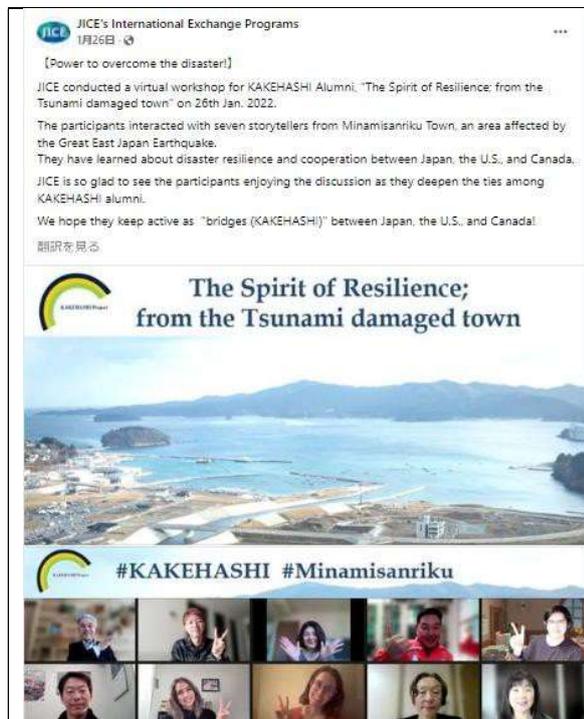
(7) 今後の同窓会で取り上げてほしいテーマは次のうちどれですか？（複数回答可）

	人数
ア. 日本語・日本文化の学習	86
イ. 日本への留学	46
ウ. 日本企業への就職	65
エ. 日本の地域の魅力	82
オ. 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた日本の取り組みについて	37
カ. その他	16
合計	332

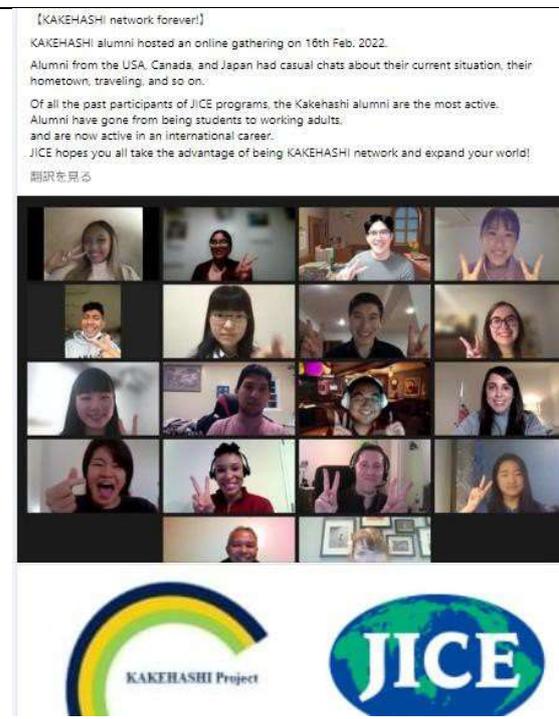


4. 広報・フォローアップ業務

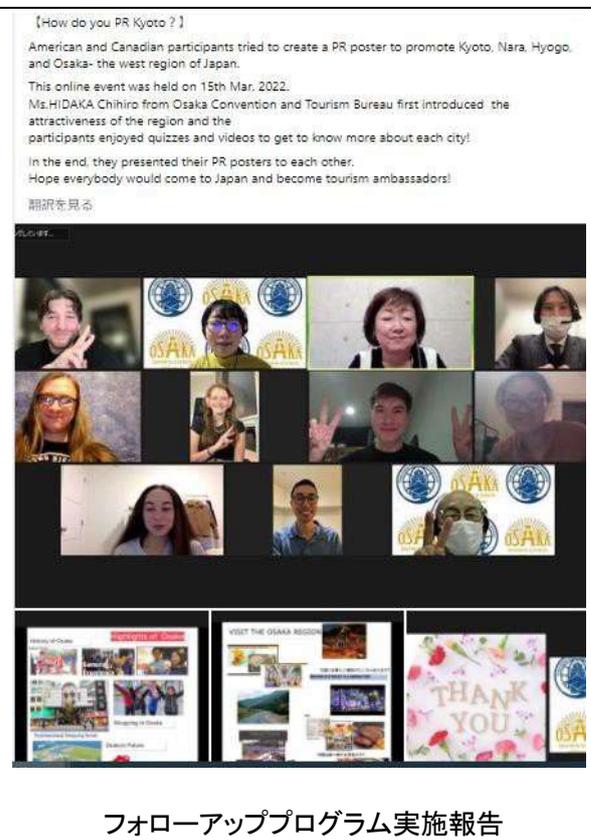
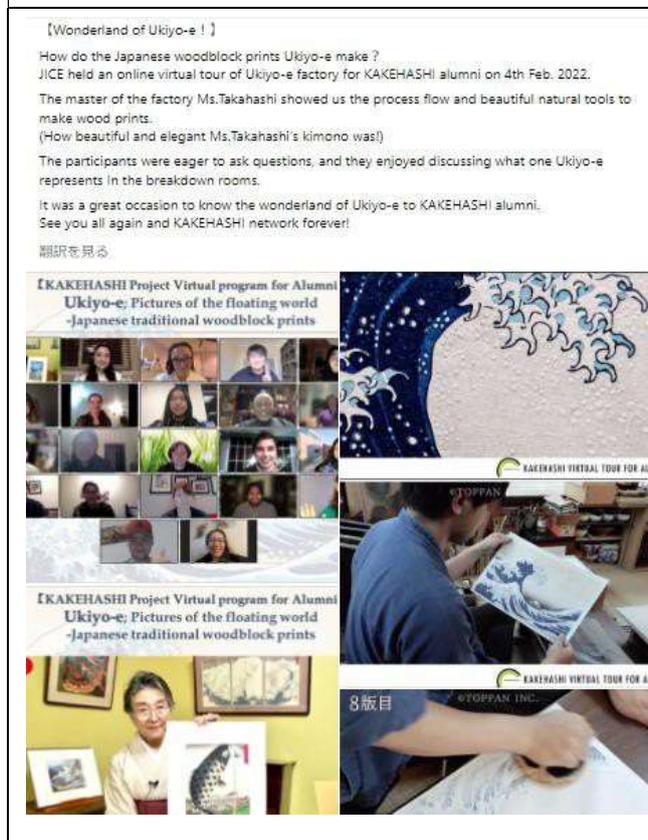
JICE 国際交流フェイスブックページにおいて、関連記事を掲載した。



フォローアッププログラム実施報告(フェイスブック)



フォローアッププログラム実施報告
(フェイスブック)



フォローアッププログラム実施報告

フォローアッププログラム実施報告 (フェイスブック)	(フェイスブック)
-------------------------------	-----------

以上

別紙 1：報道記事

別紙 2：参加者によるプログラム後の発信好事例

令和3年度対日理解促進交流プログラム
「カケハシ・プロジェクト」 (カナダ)

最終事業報告書
別紙 1. 報道記事

業務実施期間 令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

令和 4 年 5 月 31 日

一般財団法人 日本国際協力センター

II. オンラインプログラム（フォローアップ（FU））

1. オリンピアン同窓会		日付	2021/11/26
媒体	LinkedIn		
タイトル	オリンピック同窓会		
URL	https://www.linkedin.com/posts/activity-6871294638330908672-xGVV		

Janelle Sasaki • 2nd
EY Global Women Athletes Business Network Leader (WABN)
23h • 🌐

Honored to serve as moderator of the Kakehashi panel of five Tokyo 2020 Olympians of Canada hosted by the Ministry of Foreign Affairs of Japan.
[#womenfastforward](#) [#bridgebuilder](#)

Asia Pacific Foundation of Canada
6,184 followers
1d • 🌐

On November 25, an enthralled group of [#Kakehashi](#) alumni were treated to an evening with 5 amazing Kakehashi alums who represented [#TeamCanada](#) at the Tokyo [#Olympics](#). The Olympians described their journeys of resilience and success, the growing spaces for women in competitive sports, and how their 2018 [#KakehashiProject](#) experiences changed their lives and helped them excel at [#Tokyo2020](#).

Thanks to all who joined and especially to the strong and inspiring women who shared their stories, advice, and medals with us! Special thanks to [Annie Guglia](#), [Eleanor Harvey](#), [Claudia Holzner](#), OLY, [Jacqueline Simoneau](#), OLY, [Laurence Vincent Lapointe](#) and our wonderful moderator [Janelle Sasaki](#).

Ministry of Foreign Affairs of Japan
Japan International Cooperation Center (JICE)

Kakehashi Project
ALUMNI NETWORK

2. おわら風の盆体験		日付	2022/3/30
媒体	北日本新聞社 HP		
タイトル	おわら 世界にPR カナダ、米国とオンライン交流		
URL	https://webun.jp/item/7838695		

■ 富山県東部

おわら 世界にPR カナダ、米国とオンライン交流

2022.03.30 13:12



富山市八尾町の伝統行事「おわら風の盆」を世界へPRしようと、三味線、胡弓（こきゅう）奏者の館谷美里さん（32）＝八尾町下新町＝や八尾高校郷土芸能部の部員が30日、カナダ、米国の若者約20人とオンラインで交流した。おわらの踊りや楽器演奏を披露し、富山が誇る民謡文化を発信した。

北米と環太平洋地域の交流の発展に取り組むカナダの団体「アジア・パシフィック・ファウンデーション・カナダ」が、外務省や日本国際協力センター（東京）と連携して行った。「カケハシプロジェクト」と銘打ち、2015年度から日本各地と北米との交流を進めており、県内では初開催。



富山市の旅行会社「エコロの森」が仲介役となり、館谷さんや八尾高郷土芸能部の1、2年生11人が参加した。八尾おわら資料館を配信会場に、館谷さんが三味線と胡弓の特徴や、「男踊り」「女踊り」「豊年踊り」の動きの由来などを説明。部員たちは風情あふれる楽器演奏と歌に乗せ、しなやかな踊りを見せた。

胡弓を担当した部長の柞山大翔（はると）さん（2年）は「海外におわらの魅力を発信できてうれしい。これを励みにさらに腕を磨きたい」と語った。

交流に当たり藤井裕久市長のビデオメッセージが紹介され、在カナダ日本大使館の公使があいさつした。



令和3年度対日理解促進交流プログラム
「カケハシ・プロジェクト」 (カナダ)

最終事業報告書

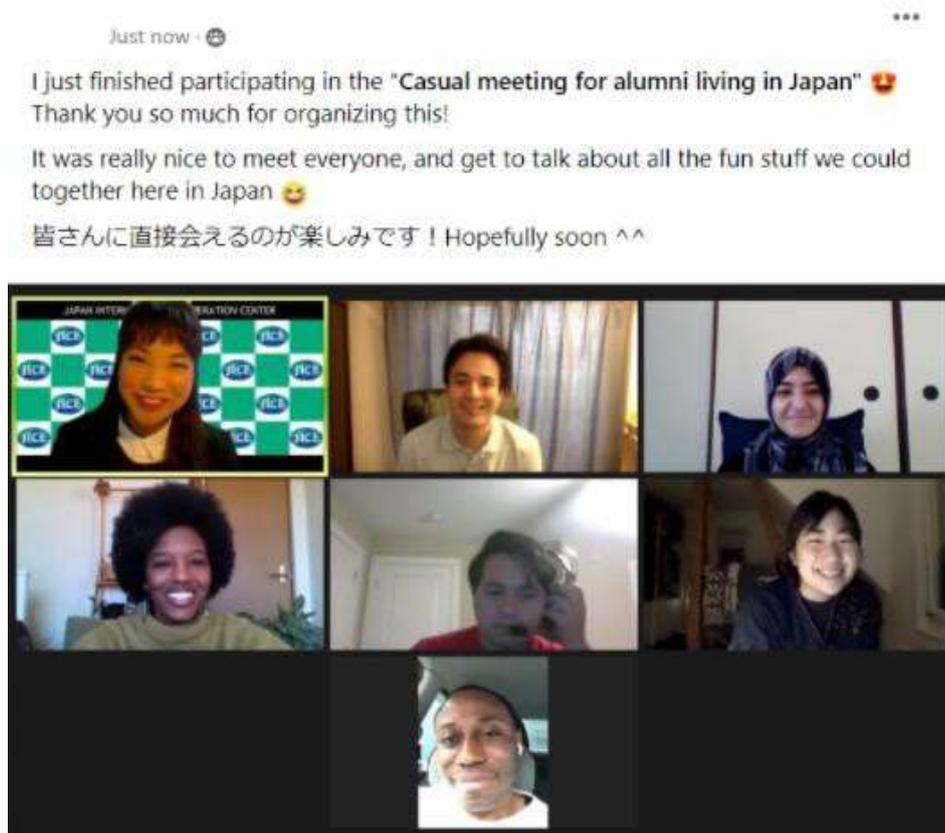
別紙 2. 参加者による発信好事例

業務実施期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日

令和4年5月31日

一般財団法人 日本国際協力センター

1. 日本在住同窓生向け同窓会	日付	2022/1/22
タイトル	同窓会についての発信 (Facebook)	



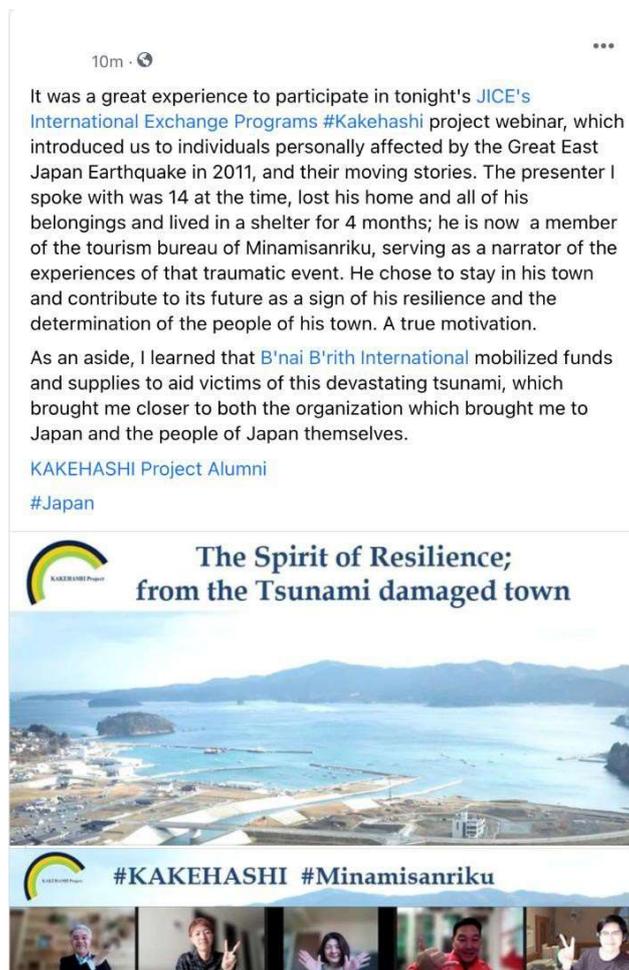
2022 年 1 月 22 日

同窓会についての発信 (Facebook)

「日本在住同窓生のためのカジュアルミーティング」に参加しました。イベントを開催してくれてありがとうございます。

皆さんに会えて、日本で一緒にできることについて楽しくお話をすることができて、本当によかったです。皆さんに直接会えるのが楽しみです！また近いうちにお会いしましょう。

2. 被災地復興ワークショップ（南三陸）		日付	2022/1/26
タイトル	視察・交流についての発信（Facebook）		



2022 年 1 月 26 日

視察・交流についての発信（Facebook）

日本国際協力センターの国際交流事業のウェビナー、カケハシ・オンライン同窓会に今夜参加し、とても素晴らしい経験となりました。2011 年の東日本大震災の被災者から心を動かされる体験談を聞くことができました。私が話を聞いた方は当時 14 歳で、家と持ち物を全て流され 4 ヶ月間避難所で過ごしました。現在は南三陸町の観光協会で被災体験の語り部を務めています。町に留まり、自身の心の強さと町民の復興への決意の証として町の将来のために尽くすことにしたのです。正真正銘の動機です。

ところで、” B’ nai B’ rith International”（ユダヤ人国際団体）が募金や寄付を募り、この酷い津波の被災者を支援したということを知りました。このことから団体に関わるようになり日本を訪れる機会を得、日本の方々と交流するようになったのです

3. 浮世絵工房バーチャルツアー		日付	2022/2/4
タイトル	視察・交流についての発信 (Facebook)		

2h · 🌐

(日本語は下に付きます。 / Japanese attached below.)

[#KAKEHASHI](#) [#ukiyo-e](#) [#JapaneseArt](#) JICE's International Exchange Programs

I am very delighted to participate another online cultural event by JICE, which is a discussion session about Ukiyo-e—one of the most well-known Japanese art genres originated from Edo Period. Our main speaker Ms. Takahashi has given us a detailed introduction about how this type of expression was formed, as well as how it influenced our society at the time and afterwards. I was really triggered by the point of Ukiyo-e was not considered art but a form of information in the past, and it is more about reading than seeing. Although it carries more historical, cultural and artistic values nowadays, it is still quite inspiring to see how it transformed from a way of passing information to what we perceive as art or expression today. We also had the opportunity to share our observations on a famous ukiyo-e work, Night View of Saruwaka-machi from One Hundred Famous Views of Edo, as separated groups. This brought even more interesting opinions since the participants all come from different cultures or places.

I really appreciate that I can take part in this event, and hopefully I will be able to visit Japan soon and “read” these amazing ukiyo-e works in person. Thank you all! 🍀

2022年2月4日

視察・交流についての発信 (Facebook)

日本国際協力センターから再び招待され、浮世絵に関するオンラインセミナーに参加できて良かったと思います。浮世絵は世界的に知られている日本の芸術の形の一つであり、江戸時代から広く普及してきました。主な講演者の高橋さんは、浮世絵の歴史や発展、そして、浮世絵と社会との結びつきについて、いろいろと紹介してくれました。「かつて浮世絵は芸術ではなく、情報伝達の一つと捉えられていた」と聞き、浮世絵は見るというより、読むと言う方が適切であることなど、このような観点は私にとって、とても興味をそそるものでした。むろん今の浮世絵は、江戸時代に比べると、歴史的、文化的、芸術的な価値がいっそう溢れています。今までの発展や意義、芸術への影響、表現の変化などは、やはり私たちの文化にとって意味が深いのではないのでしょうか。その上、私たちも、有名な浮世絵作品「名所江戸百景 猿わか町よるの景」を鑑賞し、様々な意見をグループでシェアしました。皆さんの異なる文化や地域の視点から、面白いアイデアと考えでいっぱいでした。

今日は、本当にこのイベントに参加して良かったです。将来、日本へ来て、実際に浮世絵の作品を「読む」ことを楽しみにしております。ありがとうございました。

4. 大阪の魅力発見バーチャルツアー		日付	2022/3/15
タイトル	視察・交流についての発信 (Facebook)		

#kakehashi

This evening I had the chance to attend an online presentation called "Discover Osaka, Kansai" hosted by JICE. I learned a lot about the Osaka region such as the Katsuoji Temple with the Daruma (which is a symbol of victory), the Midouji Street Illumination (which happens in Winter), and the Cup Noodle Factory!

It was a lot of fun to participate and learn about Japan, which I haven't been able to do since back in 2017 during my Kakehashi Program in Fukushima.

Here are photos of the event: 1. A group photo that I couldn't participate in due to a faulty webcam, and 2. The result of my group's attempt to throw together a poster with the screenshots we took of the presentation in a limited time-frame, chaotic but fun.

[翻訳を見る](#)



2022年3月15日 (Facebook)

視察・交流についての発信 (Facebook)

今日夕方、私は JICE 主催の「大阪・関西発見！」というオンラインプログラムに参加しました。勝利の象徴である「だるま」を飾る勝尾寺、冬の御堂筋のイルミネーション、カップヌードルファクトリーなど多くのことを学びました。私は 2017 年のカケハシで福島へ参加して以来、できていなかった日本についての学びが出来てとても楽しかったです。2 枚の写真のうち、1 枚目は私のカメラの不調で参加できなかった集合写真、2 枚目はグループワークで作成したポスターです。プレゼンテーション中に撮ったスクリーンショットを張り付けて限られた時間のなかで作成しました。大変でしたが楽しかったです。

5. 大須商店街バーチャルツアー		日付	2022/3/17
タイトル	視察・交流についての発信 (Facebook)		



2022 年 3 月 17 日

視察・交流についての発信 (Facebook)

私の名前をカタカナと漢字で美しい書にしてもらったのでシェアします！名古屋の大須商店街のバーチャルツアーの後に、日本の JICE スタッフが書いてくれました。クイズに答えるのも本当に楽しかったです！近い将来、名古屋に行きたいです。素晴らしいプログラム、本当にありがとうございました！素晴らしいイベントに参加させていただき、ありがとうございました。この素敵な贈り物を大切にします。

6. 日本国際交流センター（JCIE）ウェビナー		日付	2022/3/25
タイトル	講義についての発信（Facebook）		

Yesterday, our global health program associate, Staci Custus, had a great time speaking with a dynamic group of #Kakehashi alumni about US-Japan cooperation on combating infectious diseases. Thanks to all the participants for being so engaged and for asking all the difficult questions on this important topic!
#globalhealth



2022年3月25日

講義についての発信（Facebook）

昨日、グローバルヘルスプログラムアソシエイトのステイシー・カスタス氏が、カケハシ・プロジェクトの卒業生のダイナミックなグループと、感染症対策における日米協力について楽しくお話ししてくれました。

参加者の皆さん、この重要なトピックに熱心に取り組んでくださり、また難しい質問もたくさんしてくださって、ありがとうございました。

7. おわら風の盆体験		日付	2022/3/30
タイトル	視察・体験についての発信 (Facebook)		



2022 年 3 月 30 日

視察・体験についての発信 (Facebook)

JICE、カケハシ・プロジェクトのスタッフの皆さん、3 月 29 日に、風の盆祭りに関するバーチャルイベントを実施していただきありがとうございました。富山市八尾に伝わる、おわらの伝統芸能について学ぶことができ本当に楽しかったです。このバーチャルイベントで、唄や踊り、日本の楽器演奏をしてくださったスタジオの演者の方々にも感謝いたします。いつか日本を訪れてこの風の盆祭りを鑑賞するか、参加したいと思います。

8. 有松鳴海絞り体験		日付	2022/4/1
タイトル	視察・体験についての発信 (Twitter)		

Thanks to hosts at JICE and Osuka Aya Sensei from Aya Irodori Studio in Aichi, #Japan for last night's #Kakehashi Project alumni event spotlighting Arimatsu Narumi Shibori Japanese traditional tie-dye techniques. A great chance to appreciate such beautiful and elegant designs!



Japan Embassy Canada



2022年4月1日

視察・体験についての発信 (Twitter)

日本の伝統的絞り技法である有松鳴海絞りに焦点を当てた昨晚のカケハシ同窓生プログラムのホスト JICE と彩 Aya Irodori の大須賀彩先生に感謝です。とても美しく優雅なデザインに触れる素晴らしい機会でした！